



第2回尼崎市ユースワーク推進部会 ～令和3年度ユース交流センターの取り組みについて～



やりだいをやろう。

尼崎市立ユース交流センターは、青少年一人ひとりが
成長と自己実現ができる居場所を目指しています。

尼崎ユースコンソーシアム
Amagasaki Youth Consortium.

設置目的

- 青少年の健全な育成及び福祉の増進
- ユースワークの視点に立った市内の青少年の居場所づくり事業の拡充に取り組み、様々な交流活動を通じて青少年の成長を支援する拠点施設となることを目指す。

活動の拠点 **あまぽーと**学びの拠点 **アマブラリ**

尼崎市若王寺2丁目18番4号 あまがさき・ひと咲きプラザ内

開館日：火～土曜日 午前9時～午後9時（小学生午後5時・中学生午後8時まで）

日曜日・祝日・振替休日 午前9時～午後5時（小学生午後5時・中学生午後8時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館）・年末年始

利用者数

昨年度月平均：1,813人（日平均：53.7人） 今年度月平均：2,325人（日平均：89.1人）

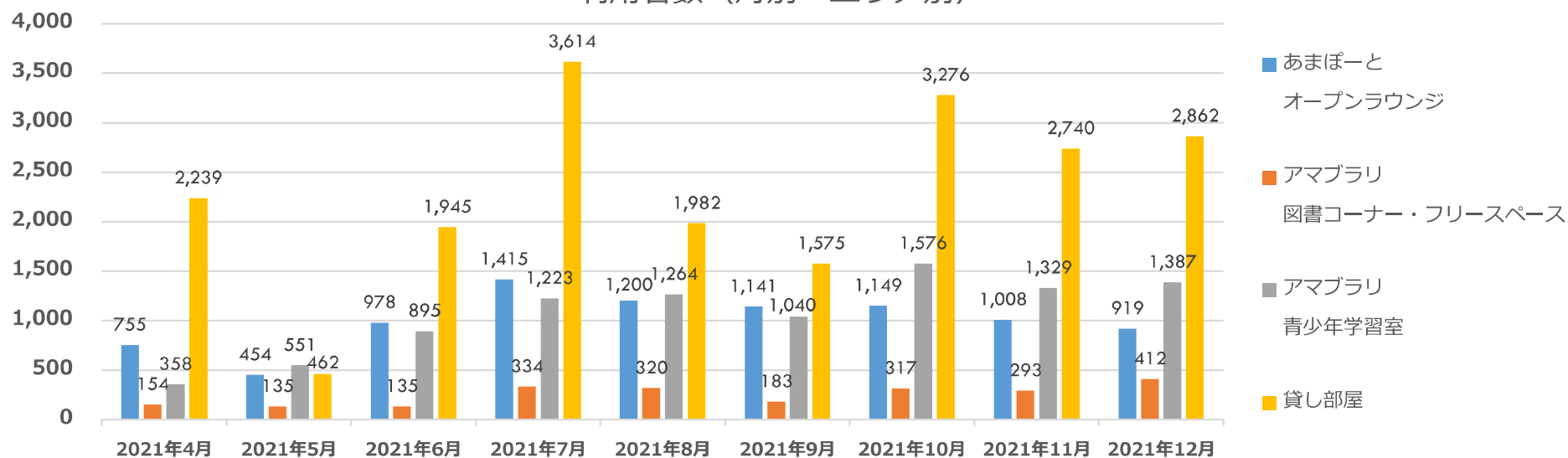
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	内中高生 人数	中高生 利用率
1,267	1,140	2,008	2,972	2,784	2,364	3,042	2,630	2,718	20,925	14,367	68.7%

貸館利用者数

昨年度月平均：1,813人（日平均：82.4人） 今年度月平均：2,299人（日平均：88.1人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	利用率	青少年 利用率
2,239	462	1,945	3,614	1,982	1,575	3,276	2,740	2,862	20,695	46.2%	52.1%

利用者数（月別・エリア別）



相談回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年度 合計
44	47	72	28	21	16	30	8	38	304	348

相談内容

- ・精神疾患を患った大学生
 - ▣精神疾患の大学生で、21時を過ぎても退館しない事案があった。その後、本人や保護者とも話し合いを行い見守りを続けている。
- ・望まない妊娠
 - ▣高校生から利用しおり、卒業してすぐに妊娠したかもしれないと相談を受けた。本人の話を大事にしながらか対応し、学校とも連携しながら話し合いを進めた。
- ・不登校や引きこもりの中学生高校生
 - ▣SSWや引きこもり支援員と一緒に来所し、活動を一緒に行った。
- ・虐待の恐れのある小学生
 - ▣虐待を受けたと助けを求めて逃げてきた小学生がいた。児童相談所や警察と連携し、その後いくしあとも話を共有し、その後の見守りなどをお願いした。
- ・リストカット
 - ▣リストカットを行う大学生や中学生から相談を受けた。学校と連携して、対応を行った。
- ・後見人が必要な高校生
 - ▣家庭内に養育できる大人がおらず、コミュニティワーカーが主体となって、後見人制度に向けて動いている中、本人の内面のフォローを行った。



不登校利用者の発案で作った
クリエイターブース



SSWとこども青少年課と協働で実施した
ヤングケアライイベント

▶YSC（ユース運営委員会）

「ユース交流センターをもっとよい施設にするためにはどうすればいいのか？」というテーマで集まったメンバーと、隔週でMTGを実施し、イベントの開催や運営について検討を行った。（メンバー9名）ボードゲームや漫画の種類についてや荷物置きに使うかごの設置についての提案を受けて、実行した。

2021年10月2日

かご設置についての提案書

<現状>

- ・荷物をソファ等に放置した状態で、持ち主が別の場所に利用しているケースが多く、その間、別の利用者がソファを利用出来なくなってしまう。
- ・荷物、バッグ等を地べたに置くのは衛生上良くないと思う。
- ・かごを配置する事で、あちこちで荷物が散らばる事が少なくなると考えられる。そして、忘れ物が無くなると想定される。

<利用方法>

- ・ソファの隣・椅子の隣に設置しておく。（常設15個の設置（機能性重視のしっかりめ）そして、予備に約10個（折り畳み出来るコンパクトで安価のかご）を検討しています。）
- ・掲示でかごに入れるように促す。
- ・机の上等に置いていたら職員・バイトが注意をする。
- ・荷物は持ち運ぶことを促す。

以上の理由で、
かごの設置を提案します。

Youth Steering Committee
(ユース運営委員会)



MTGの様子や
かごの設置についての提案書

▶緊急オンラインイベントカイギ

2回目の休館（2021年4月～5月）では、緊急でオンラインカイギを実施し、みんなのやりたいことを集めて毎日イベントを実施した。また、ZOOMを用いた取り組みだけでなく、Instagramも活用し、より日常的な関わりも意識して取り組んだ。

オンライン・ユース・イベント

ユースのやりたいことをつめました！
インスタライブで募集した「みんなのやりたいこと」
ユース交流センターが休館している間、オンラインですべてやります！
インスタライブでもイベント実施していくので、そちらもお楽しみに！

4月	5月	
27日(火)スタディイベント	1日(土)お絵描きイベント	6日(木)オモイハナシ
28日(水)映画好きのつどい	2日(日)オンラインゲーム大会	7日(金)マジック講座
29日(木)人狼ゲーム大会	3日(月)ミュージカル講座	8日(土)ギター講座
30日(金)恋バケ特典	4日(火)English Day	9日(日)「い」
火～土 18:00～20:00	5日(水)ワードクルフ	11日(火)ビンゴ大会
日-祝 14:00～16:00		

【参加方法】公式ラインに「〇〇イベント参加希望 お名前」をお送りください！ イベント詳細はHPへ！

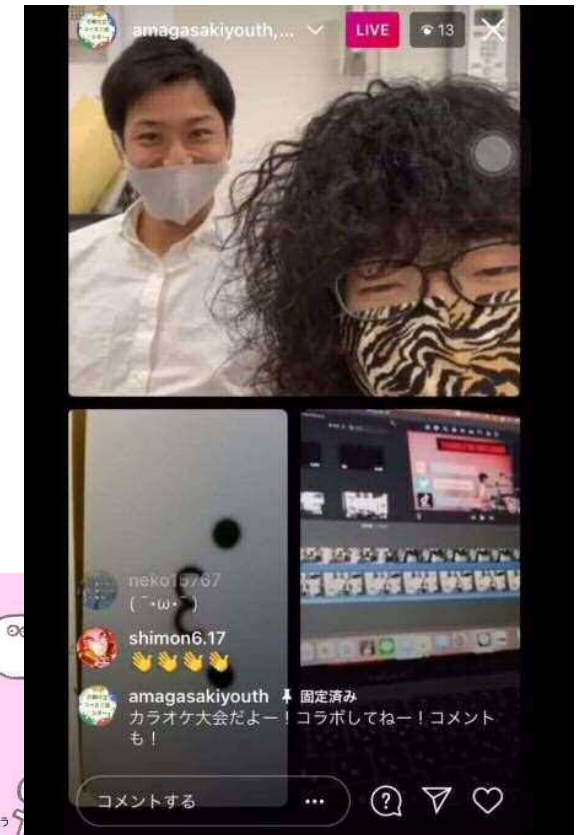
HP 公式LINE

尼崎市立ユース交流センター インスタライブ

緊急事態宣言発令で休館。施設がしまってもできることをやりたい！
毎日オンラインします！Instagramでみんなが楽しめる時間を。
Zoomでも毎日イベント開催しています！そちらも是非！

4/27	17:30-18:00	インライコラボ募集！
4/28	17:30-18:00	コラボトーク
4/29	13:30-14:00	韓国語講座
4/30	17:30-18:00	恋愛相談
5/1	13:30-14:00	ドラム配信
5/2	13:30-14:00	スタッフ竹田紹介ライブ
5/3	13:30-14:00	ラジオ公開収録
5/4	13:30-14:00	ストリートカルチャー紹介
5/5	13:30-14:00	ライブイベント
5/6	17:30-18:00	大喜利大会
5/7	17:30-18:00	マジックショー(英国風マジシャンZono)
5/8	17:30-18:00	ユース交流センターに質問求ム！
5/9	13:30-14:00	カラオケ大会
5/11	17:30-18:00	フリートーク

イベント詳細はコチラ



▶ Up to You ! (ユースカウンシル事業)

若者の声を社会に届ける。
若者が課題だと思うことや不安に思うことを市の施策として取り組んでいく。

■参加者

0期生14名

(高校生11名、大学・専門学生3名)

1期生20名


(中学生4名、高校生13名、大学・専門学生3名)

■課題と感ずること

- ・学校の校則
- ・公園のルール
- ・スケートボード場ない (通報される)
- ・ライブハウスない
- ・LGBTQの偏見

など

興味ない社会をアップデートする



「きっと誰かがやってくれる」
いつから目に見えないものに期待するようになったんだろう。
いつからルールは大人が作るものだと思い込んでしまったんだろう。
いつから興味ないと蓋をしてしまう癖がついてしまったんだろう。

自分が直面する様々な課題に対して、ただ待つだけでいいのだろうか？
“Up to You !”

特別な人でなくても、学校の成績がよくなくても、
一握りの天才でなくても、誰かのためにできることはある。
自由な発想と確固たる想いだけあればいい。

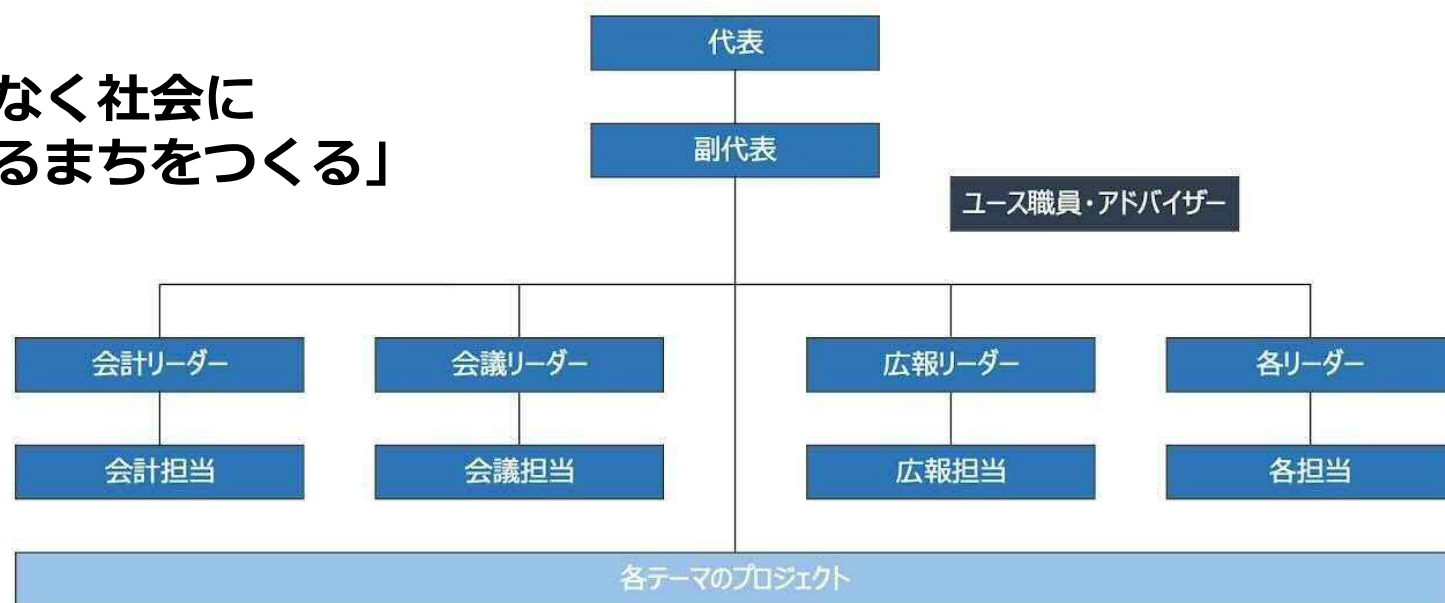
一人で出来なくても、私たちが集まれば大きな変化になる。
自分たちの集まりも自分たちで決めることが出来る「Up to You !」
第0期生、スタートします。

■役割

- ・代表 / 副代表 全体に運営
- ・会計 予算管理
- ・広報 SNS運用&チラシデザイン&Twitter /Instagram
- ・進捗確認 週1の進捗報告が行われているか確認
- ・親睦 親睦や交流イベントの企画

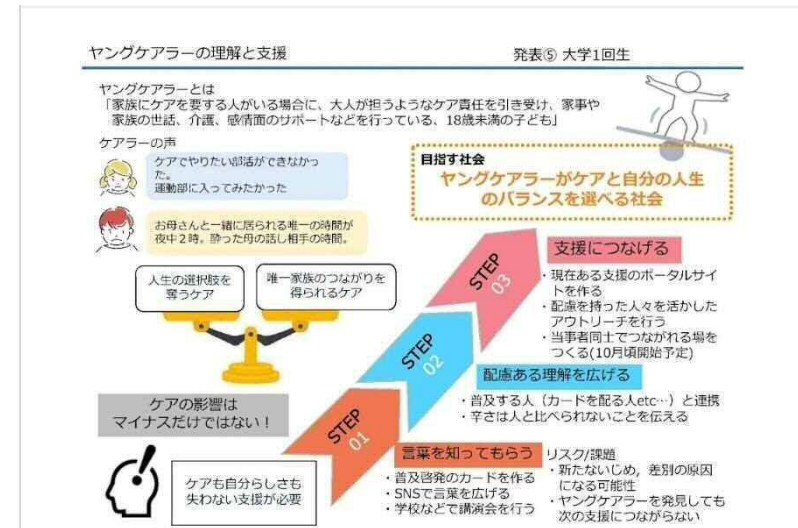
■ミッション

「若者がきがねなく社会に
参画できるまちをつくる」





定期MTGの様子



各プロジェクトの詳細



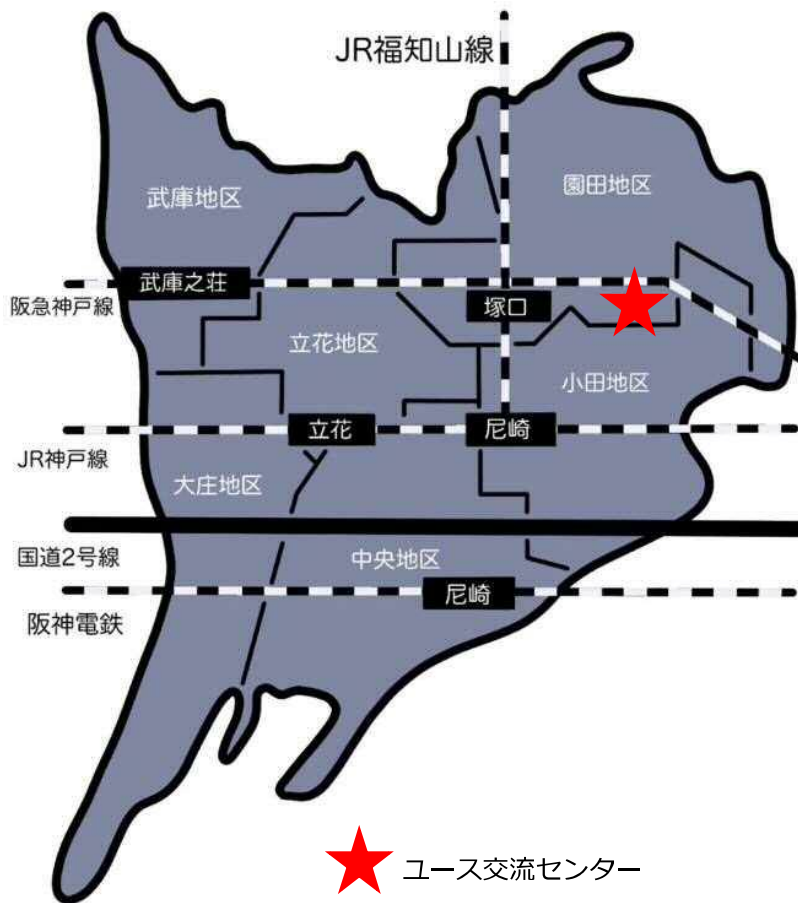
合宿+親睦イベント



8月市長など市職員へのプレゼンテーション

ユース交流センターサテライト事業

「身近にユースセンターがある生活」を目指し、若者の活動拠点の整備を尼崎市地域課職員および地域団体の方と一緒に実施した。



【武庫地区】

地域で運営しているMUKOカフェ内に月1回イベントを実施した



【立花地区】

毎週実施しているちばなユーススペースの運営やイベントの実施



【園田地区】

高校居場所カフェを地域団体と一緒に実施。その他イベントも開催



【大庄地区】

中学校内で、様々な人との交流を目的としたイベント等の実施



【中央地区】

中高生が小学生向けに企画運営する「たけやキッズパーク」実施



【小田地区】

小田地域課と一緒に様々なイベントの実施やユーススペースの開設



★ ユース交流センター

▶“いろんなことを普通に話せる場に”

学校では取り扱いにくい内容のものや、話しにくいことや自分から聞きにくいことなどで、社会に出たときに必要だと考える内容については、テーマごとに地域団体や行政と連携して、イベント等を実施した。

【政治教育】

高校生の起案で市の重点施策に関するパブコメの実施や議員イベントの実施（コロナの影響で中止）

【セクシャリティ教育】

性に関する悩みを日常的にするためにダイバーシティコーナーの設置や個室トイレにセイシルの掲示を行った。クローズで性教育イベントを開催し、生理についてや性行為、コンドームのつけ方などについて話を行った。また、LGBTQの当事者の団体と一緒にイベントも開催した。

【マネーや権利教育】

弁護士の方に来ていただき、2022年4月から変更となる18歳成人に関するリスク等について講座を開催した



パブコメの様子



性に関するイベントの様子



ダイバーシティコーナー



弁護士による講座

▶ ユースワーク研修 & 説明会の開催

ユースワークについて理解してもらいことや、実際にユースと関わる人を増やしていくことを目的にユースワークに関する説明会やユースワーク養成研修を開催した。

【ユースワーク説明会】

地域課と一緒に市職員や地域向けに実施した。

- ・ 地域担当主事会研修（10/28 14名）
- ・ 立花地区（12/2 19名）
- ・ 立花地区（12/5 5名）
- ・ 小田地区（3月開催予定）

【ユースワーク養成研修】

ユースワーカー協議会にご協力いただき、7月11日・18日に実施した。（各回12名）



立花地区でのユースワーク研修



ユースワーク養成研修

○ユースセンターの価値を一般市民の方に知ってもらうためには？ ～市民権を得るために必要な取り組み～

【現状の課題】

- ・市内にユースセンターやユースワーカーと呼ばれる箇所や人が少ない。
→子ども食堂は市内に30か所以上あり、保護者を中心にその価値の理解や広がりを見せているが、中高生や若者向けになると放課後等に活動できる場所やロールモデルとなる大人（ユースワーカー）との出会いがほとんどない。
- ・ユースワークやユースセンターについての言葉や価値を認知している人がほとんどいない。

【現状の取り組み】

- ・地域課と一緒にユースワーク説明会の開催
- ・ユース交流センターの活動パンフレットの作成（現在作成中）
- ・他のユースセンターとの連携（ユースセンターの価値発信）
文京区青少年プラザ ビーラボ（b-lab）との定期MTGの開催
→スタッフ研修の開催/イベントの開催